

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第1学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがななどの既習の文字を正しく読ませたり書かせたりすること。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たものや聞いたこと、体験したことなどを簡単な文章で書かせること。</li> <li>・場面の様子を考えたり、登場人物の気持ちを想像したりしながら読ませること。</li> <li>・事柄の順序に沿って説明する文章を書かせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習プリントを用いて、文字の定着を図る。また、言葉探し等を行う時間を取り、語彙を増やすなかで、文字の語感や形を定着させる。</li> <li>・経験したことを書き表すときには、感想や質問を織り交ぜ、教師や友達との対話から「書きたい」という思いを高めてから書くようにする。</li> <li>・音読を繰り返して行うこと。役割演技をする機会を意図的に取り入れ、想像力を広げるように促す。</li> <li>・説明する文章を書く際には、学校図書館や、市立図書館を活用する。</li> </ul>	
算数	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法、減法の意味を理解し、正確に立式、計算させること。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題をよく読んでから立式させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにあるものや生活体験をもとに、より具体的な場面設定をし、学習内容を捉えやすくする。</li> <li>・具体物やブロックなどの操作活動を多く用いて、具体的に理解しやすくする。</li> <li>・文章題などに取り組む際、すぐには書かせず、内容を整理する時間をとって取り組ませるようにする。</li> </ul>	
生活	<p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、クラスの友達、異学年、園児との交流や関わり等、具体的な活動や体験を通して、自己や他者への気付きを高めること。</li> <li>・自然や生き物との触れ合いや、季節の変化を通して、多くのことに気付かせたり、考えさせたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同年齢や異年齢の子供たちと交流しながら、互いに学び合う活動や体験を設定する。活動の振り返りをまとめ、自己の良さや自己の成長を感じられるようにする。</li> <li>・植物の観察や生き物探しなど、自然との関わりを多く取り入れる。季節の移り変わりについて、継続的に観察させ、体験活動を重視する。</li> </ul>	
音楽	<p>&lt;思考・表現・判断&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の楽しさに気付き、表現することへの意欲を高めさせること。</li> <li>・歌詞の内容や曲調に合った身体表現の工夫をさせること。</li> </ul> <p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤ハーモニカやリズム楽器の基礎を身に付け、簡単な曲を演奏できるようにさせること。</li> <li>・楽曲を聞いて、曲の特徴や面白さを感じ取らせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発想を取り上げ、歌詞を動作化したり、手拍子を打ったりしながら、のびのびと表現できるようにする。</li> <li>・曲に合わせて体を動かしたり、言葉で表現したりする活動を取り入れる。</li> <li>・楽器の使い方、指使いなどに気を付けて段階的に指導し、技能が身につくようにする。</li> </ul>	
図画工作	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の使い方や用途を理解させること。</li> <li>・基本的な技能を定着させ、子供の技能に合わせた表現をさせること。</li> </ul> <p>&lt;思考・表現・判断&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいもののイメージを基に、素材や道具を工夫して表させること。</li> <li>・思い切った表現にチャレンジさせること。</li> <li>・ねらいに沿って表現を工夫させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいイメージをもてるように、絵や言葉でアイデアを描き出すワークシートを活用する。</li> <li>・基本的な技能の習得の中で、子供の目線に立つつまづきそうなポイントを想定する。</li> <li>・つまづきそうなポイントは丁寧に指導する。また、友達と教え合う活動を取り入れる。</li> <li>・課題の難易度を調整する。</li> <li>・授業規律を確立し、落ち着いて制作に取り組めるようにする。</li> </ul>	
体育	<p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を素直に受け入れさせること。</li> </ul> <p>&lt;技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敏捷性、柔軟性を高めさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを簡略化し、どの児童でも理解できるような内容にする。</li> <li>・児童のよい部分を積極的に認め、称賛を続けることで、勝敗に執着しないようにする。</li> <li>・日頃から体を動かすことを推奨し、休み時間は体調が悪い時以外、外で遊ぶように声をかける。</li> <li>・授業の始めに毎回、走る、投げるなどの基本的な運動技能を高められる活動を取り入れる。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と異なる感じ方や考え方も受け入れられるようにさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割演技を多く取り入れ、相手の立場に立って考える経験、習慣を身に付けさせる。</li> <li>・日常生活において、公正、公平な言動をその場その場で取り上げ、そのよさを考えさせるようにする。</li> </ul>	